

令和4年12月2日

うきは市議会
議長 江藤 芳光 様

総務産業常任委員会
委員長 伊藤 善康

委員会調査報告書

令和4年第5回うきは市議会定例会において、閉会中の継続調査申し出の所管事務調査を行ったので、うきは市議会委員会条例第36条の規定により、下記の通り報告する。

記

1. 6次産業化に関する調査

- (1) 日 時 令和4年10月31日(月曜日) 10時30分から12時まで
- (2) 会 場 長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」
- (3) 出席者 総務産業常任委員会 7名、うきはブランド推進課 1名、
農林振興課 1名、うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター職員
1名、議会事務局 1名

(4) 調査の趣旨

地域活性化や農家所得の向上に貢献し、6次産業化の先進的取り組みを行っている「おおむら夢ファームシュシュ」を訪問し、視察調査を行った。

(5) 主な内容

おおむら夢ファームシュシュを運営している農業生産法人「有限会社シュシュ」の代表取締役山口成美氏より説明を受けた。

衰退が懸念される地域を何とかしたい、高齢化も相まって年々耕作放棄地が増え若者の流出が止まらない現状に歯止めをかけたいとの思いから地域の活性化に尽力している。平成8年、農家8名で「福重地区農業農村活性化推進協議会」を発足させ、ビニールハウスの農産物直売所を開設。そして、平成12年に総事業費4億円をかけて農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」をオープン。従業員は70名で、8割が女性。女性の細やかさや様々なアイデアを活かし、POPデザインも自分達で手がけている。「シュシュ」とは、フランス語で『お気に入り』という意味で、今では年間49万人のお客様が訪れる施設となっている。

観光農業でお客様に感動を与えて、後継者に希望を与える産業にしていきたい、そのためには夢のある農業を自分達が率先して実践していくことが大事である。また、地域活性化を推進していく上では、農業・林業・水産業・畜産業が一緒に取り組むことによって地域は発展すると考えている。お客様に来ていただく喜びに感謝しながら、地域が発展するよう、「年中無休」ではなく「年中夢求」で(年中休みがないのではなく、年中夢を求めて)取り組んでいきたいと、山口氏をはじめとする農家の皆さんの熱い思いが感じられた。

【シュシュの基本理念】

1次産業（農業生産）を基本とし、2次産業（加工）、3次産業（販売・サービス）の一貫性を確立した掛け算の6次産業を目指す。安全・安心・新鮮をモットーに旬の味を生かし、消費者の方々に感動を与え、地域の活性化と共に、農業後継者の育成を図ることを目的とする。

今後さらに「食と農」を主体としたアグリビジネスへの挑戦を続け、都市と農村の交流拠点施設の役割を果たす。

【施設概要】

総敷地面積 15,000 m² 建物面積 拠点施設 500 m² (150 坪)
直売所 208.4 m² (63 坪)、ぶどう畑のれすとらん 630 m² (189 坪)
洋菓子工房 78.4 m² (39.2 坪)、収穫体験施設 1,000 m² (300 坪)
加工所施設 264.8 m² (80 坪)

【シュシュの取り組み】

◇直売所（新鮮組）

生産者・販売者・消費者の距離感が最も近い直売所を目指している。150戸の地元農家が毎朝新鮮な野菜、果物、花卉、大村湾の魚、手作りの加工品などを出荷しており、250種類もの商品が並ぶ。

◇パン工房

旬を大切に、地元の野菜・果物を取り入れたシュシュならではの特色あるパン作りを心がけている。年間60～100種類のパンを月替わりで提供している。

◇ぶどう畑のれすとらん

地元農畜産物にこだわり、新鮮な野菜を使ったバイキングレストラン。結婚式や法事、各種宴会・イベントもでき、最大200名利用可能。

◇アイス工房

新鮮なジャージー牛乳をベースにしたアイスクリームと地元の旬の野菜や果物を使ったシャーベットを製造・販売。「君を愛す」などユニークな商品もある。

◇洋菓子工房

地元の野菜や果物を使用したスイーツを製造・販売。「ケッコーイケてるシュシュプリン！」が一番の人气で、平成19年に日本農業新聞一村一品大賞で金賞を受賞。

◇加工所

地域の農産物が四季を通して味わえるように、ジュース・ジャム・ドレッシング・タレ・ソース・ジュレへ加工。保存料を添加せず、素材を生かした商品づくりを行っている。生産者の想いが込められた農産物を有効活用し、新たな付加価値を付けることで農産物の消費拡大につながるよう取り組んでいる。受託加工も行っている。

◇手作り体験教室

子どもから大人まで、幅広い層の方が体験に訪れる。安全安心な農産物を使い、食の大切さを伝え、地域と連携した食農教育事業や婚活事業など幅広く行っている。

◇収穫体験

イチゴ狩り体験は12月下旬から5月上旬まで。回転式のベンチ栽培を行い、車椅子の方や小さい子どもでも収穫を楽しめる。ぶどう狩り体験は7月後半から9月下旬まで。梨狩り体験は8月下旬から9月下旬まで。

◇農業塾

栽培指導、農機具の使い方、ブルーベリージャム作り、そば打ち体験など、様々な体験活動を通して将来の農業者育成を目指している。

【主な受賞歴】

- ・全国地産地消活動優良表彰（交流促進部門）「農林水産大臣賞」（平成19年）
- ・グリーンツーリズム大賞2009 日本一
- ・第64回全国農業コンクール農林水産大臣賞（平成27年）
- ・全国直売所甲子園2015「優勝」
- ・農林水産祭天皇杯（多角化経営部門）（令和3年）

【質疑応答】

Q：農業は堅いイメージで後継者不足や高齢化いろいろな問題を抱えている。これだけの取り組みをされて、行動力もあられる。毎日相当多忙ではないか。

A：農業が衰退し、後継者がいなくなる現状がある。自分達の背中を見てもらい、本当に農業の後継者を育てたいという思いから、自分達が今できることを必死に取り組んでいるところである。レストランや結婚式に法事、民間だからできたのかもしれない。

Q：マスコミを1年中つなぐというのは一番大事なことだと思うが、工夫は。

A：1年中いつ来ても何か旬のものがあるよということ。複合施設だからこそできることだが、朝は直売所、昼はレストラン、2時以降はおやつ感覚でアイス工房。最近は企業の福利厚生でフルーツ狩りと食事のセットで来られるお客様が増えた。新しいニーズである。

Q：農業生産者の組合組織から、有限会社にされたきっかけは。

A：全くゼロからのスタートなので、信用もない。だから、ビニールハウスで農産物直売所を開始した。ビニールハウスの農産物直売所は任意組織でよかったが、会社を立ち上げないと金融機関も見向いてくれない。最初のメンバーは40名くらいいたが、3セクでやるなら面白いけど、自分たちが借金しないといけなくなった途端に8名になり、有限会社を設立した。

Q：来年10月から始まるインボイス制度について、何かお考えがあれば教えてほしい。

A：非常に困惑している。税理士もどう説明すればいいのかと困惑している。農家に正しい説明をして正しい理解をさせるのは至難の業だ。どこも悩んでいると思う。これだという解決策がない。

Q：雇用の形態は。

A：社員70名。社員の形態にも、正社員、契約社員、フルのパート、ショートパート、扶養の範囲内で働いている方も結構いらっしゃる。最低賃金が上がって一番困っているのが、働きたいと言って来てくれているのに、賃金が上がったことによって103万円、130万円の壁があるので働けないということ。雇用の確保が本当に大変になる。

Q：うきは市も道の駅で加工品を増やしていく必要があるかと思っている。加工品を作るとき、何がいいか、どういうものが売れるか、これを考えるキーパーソンはどういう方がいるのか。

A：専門のスタッフを配置している。

Q：新規就農、農家民泊、あるいはインターンシップ、ツーリズムの取り組みをされているが、年間どの程度の利用があるのか。

A：市と共同で取り組んでいる新規就農は3泊4日。県が実施している1年間の研修があって、2か月座学で10か月実習。それで大村市が一番希望も多くて就農率も高い。今ここで独立就農している人は、今までで20人ぐらい。年間に2、3人程度。

Q：ホームページ上には出荷者の年間売り上げが150万円ぐらい上がったと書いてある。平均どのくらいの収入になったのか。

A：500～700万円。1,000万円以上の人もある。

Q：うきは市もたくさんの種類の果物があり、どう加工したらいいかということが一番の課題である。アイデアの相談はできるか。

A：可能。どこよりも解決が早いと思う。

(6) 所見

代表取締役社長の山口成美氏の説明を受けていて感じたのは、彼はエネルギーでスピード感があり、行動力とアイデアに満ちた人物であるということである。このようなリーダーがいたからおおむら夢ファームシュシュは大成功を成し遂げている。ちなみに彼は元農協職員であったということであった。

大村市でも農業は衰退し、後継者がいなくなる現状がある。それで自分達の背中を見てもらい、本当に農業の後継者を育てたいという思いから、自分達が今できることを必死に取り組んでいるということであった。6次産業化で農家の所得向上に努め、後継者を育成して地域活性化を成し遂げている。まさに手本にしたい。

彼が6次産業化を一番わかりやすく説明してくれたのは、にぎりめしの例えであった。茶碗1杯のごはんは20円から25円であるが、これをにぎりめしにすると130円になる。なるほどと思った。それと、加工場は作るな、経費がかかりすぎる、外注が良い。この2つのことが今回の視察で特に印象に残っている言葉である。

2. 個別施設計画に関する調査

(1) 日 時 令和4年11月16日(水曜日) 9時から11時14分まで

(2) 会 場 第1委員会室

(3) 出席者 総務産業常任委員会 7名、うきはブランド推進課 2名、生涯学習課 3名、建設課 3名、議会事務局 1名

(4) 調査の趣旨

令和4年8月の総務産業常任委員会閉会中において、公共施設等総合管理計画に関する調査を実施した。計画の詳細部分である個別施設計画について、今回は3つの所管課に絞り込み、現状及び将来の各施設のあり方等に関する調査を行った。

(5) 調査の内容

①長岩公園交流促進センター

本施設は、平成9年に「山村振興等農林漁業特別対策事業」を活用して建設・整備し、これまで運用されてきた。その間、当初の運営母体であった「長岩総合交流促進施設等運営組合」から他の運営会社へ次々に変更され、平成31年度からは「NPO法人うきはのあん」が運営されている。

現状として、木造建築物の耐用年数は24年であるが、現在25年目を迎えている。市としては設備投資を抑えながら、民間事業者等による運用も導入してきたが収益が当初のように上がらず近年のコロナ禍にあっては施設利用者が激減しており、今後の経営状況次第では補助金返還等がないような払い下げ等の活用も見据えている。[資料①](#)参照。

【主な質疑及び意見】

Q：補助金返還の問題をクリアして、早く譲渡をすべき。条件があるのか。

A：おっしゃるとおり。耐用年数によって補助金返還が出てくる可能性がある。木造なので返還にかからない年数だと思うが、今後よく調査したい。

Q：コロナ禍前の収益はどのくらいあったのか。

A：令和元年度から活動による事業で30万円程度。今年度はキャンプの道具の貸し出し等で使用料で少しずつ収入を得ている。

Q：うきはのあん代表者からの意見は聞いているか。

A：施設が大きいので光熱費が赤字。お風呂を沸かすにも光熱費がかかりすぎる。本施設を拠点にして新川・田籠に人を流せるようにしたいとのこと。

Q：売却もゆくゆくは手段だと思うが、魅力を見出すことも必要。何が問題なのかを考えてほしい。

A：地域を盛り上げてやっていただくよう、話し合いを続けて活性化していかなければと思う。

Q：今から検討では遅い。このまま残すなら予算削減につながるのか。譲渡も選択肢である。

A：市民の意見の多数をもって、方向性は変えられると考える。

Q：都会の方がどういう形ならうまくいくのかを考えてほしい。うまくいくならやってもいいが、ダメなら地元で話してほしい。

A：譲渡に向けていくのか、活用するのか、市民の声を受けながら、維持か計画の変更か判断していきたい。

②文化財関連施設、体育関連施設、ホール

生涯学習課が管理する文化財関連施設、体育関連施設、ホールについては、総合管理計画で示した基本的な考え方をもとに、個別施設（建物）ごとの具体的な対応について「事後保全型」から「予防保全型」の管理へと転換し、予算の平準化とトータルコストの縮減を図るために必要な事項について定めており、施設毎に今後の管理運営方針を示された内容について調査を行った。

文化財施設に関する資料、スポーツ文化振興係所管の建築施設に関する資料に示している内容について説明を受けた。[資料②-1](#)及び[資料②-2](#)参照。

【主な質疑及び意見】

Q：ホールに関しては担当課だけでしか検討していないのか。複合施設であれば担当だけでなく一体的な検討をすべき。

A：かわせみホールだけではなく、浮羽庁舎やアリーナを一体として考えねばと思っている。市民協働推進課・都市計画準備課と地元と話し合いを進めている。

Q：市民に情報を開示して、作ったあとに活用できるようお願いしたい。

A：どう活用するか、関係課・地元と協議していきたい。

Q：年間1千万円の維持費を考えると、先延ばしにするわけにはいかない。どちらか選択を。このまま放置して費用がかさむのはいかがなものか。早目に方向性を。

A：おっしゃるとおり。ワクチン接種会場や健診の会場としても利用されている。保健課や地元等の要望もある。実情を踏まえ、地元と協議していかねばと思う。御幸では廃止はわかるが、活動の場がなくなるとの声もある。いろんな意見を十分に検討したい。まず青写真を描いて地元と協議を続けたい。ホール機能はそれぞれ違い、貸館機能はかわせみホールが強い。単純に成果表の数字だけが施設にかかるコストというわけではない。

Q：JR うきは駅一体を都市計画の視点に立って考えるべきである。

A：地元との協議は都市計画準備課が主となって進めている。エリアとして考えていきたい。

Q：大春トリムセンターは2025年までに解体予定だが、合意形成はどこまでできているか。

A：練習場所の代替措置が難航している。山春小学校とアリーナになろうかと思うが、コロナで活動自体が読めないところもある。計画に向けて進める。合意形成に努める。

意見 計画書の具体性がない。担当だけではなく、トータル的にスケジュールを決めて取り組むべき。

合瀬耳納トンネルができて、車の量が増えた。その人たちに立ち寄ってもらうことも頭に入れてほしい。

③うきは市立公園条例に係る公園の管理、舗装個別施設計画

市立公園に関するアンケートや議会からの色々な意見要請に対する行政の取り組み方針を月に1回の割合で検討しており、公園に関する取り組みについて、中間的な報告として説明がなされた。うきは市立公園（12公園）を現状分析し、存続と除外に分別方針を決定した上で、将来の公園の管理上の目安を設定するもので、除外とされる公園についても一定の管理運営は行うものとしている。

また、道路舗装個別施設計画については、平成26・27年度に現状確認された調査を基に舗装計画が策定されており、その実施状況が説明された。「舗装個別施設計画」では、舗装計画の実施日が設定されているものの、既に過去の実施年で設定されているが、計画したものは最後まで実施するとしている。

【主な質疑及び意見】

公園関係について

Q：城ヶ鼻公園に安全な展望所はできないか。デッキを整備してはどうか。

A：観光部門とどう活用していくか検討している。樹木を整理し、森林環境譲与税も活用して造林公園にできないか考えている。デッキについては参考にさせていただく。

Q：保木公園が存続に上がっている理由は。

A：協議中。国に地上げができないか打診しているところ。整理がついた段階で地元協議も踏まえ検討していく。

Q：トイレにも力点を置く必要がある。全体的に点検をしてみしてほしい。保木公園は周りの環境も考えながら整備する必要がある。怖さを感じる。

A：地上げすることになれば樹木を撤去することになる。景観の良い公園にしていきたい。

Q：除外についてのスケジュールは。これによっていくらコストが下がるのか。

A：もう少し協議を進めて全員協議会で報告し、年度内に条例改正したい。次年度にずれ込むかもしれない。コスト計算は現時点ではしていない。

Q：藤波ダム公園はパークゴルフ場の要望が御幸地区自治協議会から出ていたが、考えているか。

A：そういった案もテーマ型民間事業者提案制度の中で検討できないかと考えている。御幸自治協と協議していきたい。

Q：古川水辺公園は駐車場がない。駐車スペースを作してほしい。

A：今年度、道路整備に伴い残地を駐車スペースとして確保できないか検討したい。

Q：テーマ型民間事業者提案制度とは。収益を上げる事業でもよいか。

A：企画財政課のほうが募集している。公共施設を有効活用し、民間の提案が良い提案なら認めるという制度で、公園に限っているわけではない。逆に収益を上げないと管理ができないと思う。

Q：古川水辺公園は車の通りが多く、子どもを遊ばせる環境にあるのか懸念する。

A：安全対策を検討する。

舗装個別施設計画について

Q：計画期間5年で終わらなかった分はどうするか。

A：すべて終わるのは不可能。表に単純に上げているのが現状。さらに絞った形で列記するような見直しが必要かと思っている。

Q：利用が少ないところはどうか考えるか。

A：緊急性、危険性、利用状況を踏まえ、地元の意見を聞きながら有効な整備を進めていきたい。

Q：舗装は何年もつのか。

A：交通量で変わる。打ち替え工事を10～20年の間で行っている。コンクリートの厚さや表層の硬さも影響する。

Q：道路のひび割れをコータールで目塗りしているところは、今後どうするのか。

A：できるところまで修繕でいく。10年経過した時点で改修かどうか判断。15～20年経過しないと次の全面改修にはいけないかと考える。

Q：補修にかかる予算の財源は。

A：公共施設等適正管理推進事業債や補助金。過疎債、辺地債も可能なら充てる。

(6) 所見

長岩公園交流促進センターは、今年で25年を迎えており、たとえ初期の段階で盛況を勝ち得ても利用すべき人の集まりが現実期待されないほどいなくなるとすれば、事業の目的

は達せられないと考えるべきであろう。民間では考えられないと批判を受けるぐらい費用を使用し、目的を果たせなければ補助金の返還を求められない範囲で、譲渡対応を検討すべきとの判断は決して批判されるものではない。

ホールに関しては、白壁ホールを維持するかどうかの意見は一切出されていない。かわせみホールの今後の取扱いについては全体的に跡地利用を主眼とした意見構成が多い。現存するホールを早期に撤去し、浮羽町御幸の中心部における一体的な開発構想を検討すべきとの意見も強く出された。現状としてのかわせみホールの利用状況は、コミュニティー室、研修室、ホールとも利用者が多く、年間利用者数としても、白壁ホールよりも多く利用されていることから何らかの縮小した代替施設を検討すべきである。もし、かわせみホールの跡地に何らかの施設が利用できなくなれば、相当うきは市民の浮羽町に在住される方々に不便を感じさせる。そういう見地から判断すれば自ずと結論が導かれるのではないだろうか。

建設課が管理するうきは市立公園は12公園を有し、存続される公園は7公園とし、除外とする公園は5公園として説明がなされた。ただし、除外された公園が管理されないということではなく、草刈り等の回数が減るという認識としている。区分けされた公園がそのまま決定されたものではなく、今後の公園別管理状況の見直しへの意見も出されており推移を見守りたい。また、公園の存続と除外という表現で公園管理を分別しているが、存続される公園に区別された公園すべてが基準に合致されているのか、また除外された公園についても再検討の余地を残している。更に浮羽町の中心部には公園がない故に公園を設置して欲しいという市民の声に応えられていない点への考察がほしい。

舗装個別施設計画については、過去の調査により出されているが、実施予定の年度を既に過ぎており、その実施計画通り実行されるのかが問われたが、遅れても完全に実施するとの回答が表明された。計画は、しっかりと練り上げられ実行に移されていると認識しているので、着実な実施と未実施が発生しないように確実な予算確保をお願いしたい。

R4 資料：四季の舎ながいわ（長岩公園交流促進センター）

平成7年～9年度までの間に「山村振興等農林漁業特別対策事業」を活用してこの施設を建設・整備しております。

事業名：山村振興等農林漁業特別対策事業（交流促進施設整備事業）

建設費内訳

単位：千円

事業内訳	事業費	国補助（50%）	県支出金（20%）	地方債（30%）
建設費	180,000	90,000	36,000	54,000
給排水施設	49,600	24,800	9,920	14,880
駐車場	29,700	14,850	5,940	8,910
野外施設	8,826	4,413	1,765.2	2,647.8
計	268,126	134,063	53,625.2	80,437.8

現在までの運用

H10～12年度 長岩総合交流促進施設等運営組合（新川・田竈地域の方々が主体）

H13～16年度 うきはの里株式会社

H17～25年度 （有）オリエンタルハーブ

H26～H30年度 市の管理(直営)

H31～R3年度・R4～ NPO法人うきはのあん(指定管理)

H24九州北部豪雨災害により、道路が破壊され集客に難があったため（有）オリエンタルハーブが撤退した。その際に、食事処を運営していた「あんじゅ」と相談し、H26年度からは市と個別に施設の一部管理と運営業務委託契約を交わして、レストランの運営を行っていたがH30年度末で撤退。合わせて事務所も空いていたため、H27年度～29年度までの間うきはインフォメーションセンターを運営する(株)グローバルワークスに事務所を賃貸借契約していた。事務所部分はH30からは撤退している。

H31～R3,R4～3年間でNPO法人うきはのあんが指定管理者。

課題

木造建築物の耐用年数は24年であるが、平成9年に完成し平成10年から運用しはじめたこの施設でいえば、令和4年度は現在25年目である。市としては設備投資を抑えながら、民間事業者等に活用していただきながら、補助金返還等がないような払い下げ等の活用も見据えていく必要がある。

総務産業常任委員会調査【個別施設計画】
(R4.11.16)

うきは市公共施設等総合管理計画（H29.3月策定）第4章 施設類型ごとの管理に関する基本方針（P35,36抜粋）

施設名	取得年	築年数	内 容
菊竹六鼓記念館	S38	57年	<p>・当記念館は吉井町出身の著名なジャーナリストである菊竹六鼓の功績をたたえ、氏の遺品及び記録を後世に伝えるために建設された施設ですが、立地条件が悪いため見学に訪れる人も少なく、主に地域の集まり等での利用が中心となっています。そのような中、建設から50年以上経過し老朽化による更新時期を迎えていますが、前段の理由により同じ場所では本来の目的を達成することが困難な状況であることから、収蔵品等については今後集約する新たな展示施設に専用の展示コーナーを設け、より多くの人にその偉業を発信します。</p> <p>なお、建物については予防保全型の維持管理のもとで可能な限り存続させますが、次の更新（建替え）は行わず解体して跡地の有効活用を図ります。</p>
金子文夫資料展示館	S31	64年	<p>・この施設は郷土史家で収集家の金子文夫氏から寄託された考古・民俗資料等を展示するために旧吉井町役場庁舎を改修・転用したものです。建設から60年以上経過していることや、同様の施設が市内に点在していることなどから必要な対策を求められており、今後集約する新たな展示施設に専用の展示コーナーを設けて移設します。</p> <p>その際、常設展示の見直し（数年ごとの展示品入替え等）により展示スペースを確保します。なお、移設後の施設は解体して跡地の有効活用を図ります。</p>
浮羽歴史民俗資料館	S54	41年	<p>・いずれも旧町時代に建設された類似施設であり、古墳時代の出土品（重要文化財）から農業・商工業関係の民俗資料まで、様々な歴史資料を展示していますが、入館者が少ないことや人口規模に比して資料館の数が多く、分散していることなどから1施設に集約することが求められています。このような理由により、いずれの施設も解体して新たに整備する展示施設に集約化を図ります。</p>
吉井歴史民俗資料館	S58	37年	



菊竹 + 3 資料館とも解体後、1 施設に統合し、集約化を図る。（跡地については有効活用を検討）

うきは市文化財関連施設個別施設計画（R3.3月策定）

【目的】

総合管理計画で示した基本的な考え方をもとに、個別施設（建物）ごとの具体的な対応について「事後保全型」から「予防保全型」の管理へと転換し、予算の平準化とトータルコストの縮減を図るために必要な事項について定めるもの。

【計画期間】

本計画は今後30年間を見据えたものですが、上位計画との整合性を保つため、期間は令和3年度から令和8年度までの5年間とし、以後も内容の充実を図りながら見直しを実施します。

【対象施設一覧】

施設類型	施設名	建築年	総延床面積	所管部署
文化財関連施設	吉井歴史民俗資料館	1983年	554.50㎡	生涯学習課
文化財関連施設	浮羽歴史民俗資料館	1979年	494.88㎡	生涯学習課
文化財関連施設	金子文夫資料展示館	1956年	511.81㎡	生涯学習課
文化財関連施設	菊竹六鼓記念館	1963年	206.00㎡	生涯学習課
文化財関連施設	文化財収蔵庫	1989年	527.90㎡	生涯学習課
文化財関連施設	鏡田屋敷	1863年	518.12㎡	生涯学習課
文化財関連施設	居蔵の館	明治末期	500.45㎡	生涯学習課
文化財関連施設	町並み交流館商家	1928年	584.09㎡	生涯学習課
文化財関連施設	注連原住宅	2016年	168.63㎡	生涯学習課

○対象施設の基本的なストック情報

施設名	棟名	構造	階数	延床面積	建築年	耐震情報	
						耐震診断	改修年度
吉井歴史民俗資料館	展示室1階	鉄筋コンクリート造	2	307.50	1983年	無	
	展示室2階	鉄筋コンクリート造	2	247.00			
浮羽歴史民俗資料館	資料館	鉄筋コンクリート造	1	444.88	1979年	無	
	収蔵庫	鉄筋コンクリート造	1	50.00	1986年		
金子文夫資料展示館	資料館1階	鉄筋コンクリート造	2	221.80	1956年	無	
	資料館2階	鉄筋コンクリート造	2	290.01	1956年		
菊竹六鼓記念館	ホール	鉄筋コンクリート造	1	78.00	1963年	無	
	和室	鉄筋コンクリート造	1	128.00	1963年		
文化財収蔵庫	収蔵庫	鉄筋コンクリート造	3	527.90	1989年	無	
鏡田屋敷	住宅・倉庫	木造	2	486.87	1863年	無	
	物置	木造	1	31.25			
居蔵の館	住宅	木造	2	400.85	明治末期	無	
	倉庫	木造	2	99.60			
町並み交流館商家	住宅	木造	2	441.14	1928年	無	
	設備棟	木造	1	22.95	1928年		
	付属棟	木造	2	120.00	1928年		
注連原住宅	住宅	木造	1	168.63	2016年	無	

○サービス情報一覧表 (R1年度)

施設名	年間開館日数	利用者数	1日当たりの利用者数
吉井歴史民俗資料館	307	1,139	4
浮羽歴史民俗資料館	307	4,052	13
金子文夫資料展示館	307	1,435	5
菊竹六鼓記念館	307	2,375	8
鏡田屋敷	314	6,300	20
居蔵の館	314	12,381	39
町並み交流館商家	307	9,070	30
注連原住宅	307	見学者 49名 宿泊者 46名	

○コスト情報一覧表 (R1年度)

施設名	歳入 (千円)			歳出 (千円)			
	使用料 手数料等	図書等	計	光熱水費	維持 管理費	指定 管理料	計
吉井歴史民俗資料館	0	47	47	78	311		389
浮羽歴史民俗資料館	0	0	0	413	312		725
金子文夫資料展示館	0	0	0	737	298		1,035
菊竹六鼓記念館	0	0	0	131	892		1,023
文化財収蔵庫	0	0	0	437	190		627
鏡田屋敷	97	0	97	209	2,088		2,297
居蔵の館	1	0	1	169	2,143		2,312
町並み交流館商家						551	551
注連原住宅						312	312

○施設の劣化状況結果

(吉井、浮羽資料館)

・構造、基礎、外部：部分的に劣化 ・内部：広範囲に劣化

(金子資料館)

・基礎、外部：部分的に劣化 ・構造、内部：広範囲に劣化

(菊竹)

・構造：早急に対応 ・内部：広範囲に劣化

良好

劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等

施設名	棟名	構造	階数	建築年	延床面積	劣化状況評価結果																				
						構造部材	基礎	屋根	外部	外部建具	外構	内部	内部建具	電力	受変電	電力貯蔵・発電	通信・情報	通信・情報（防災）	中央監視	避雷	空調	換気	排煙	給排水衛生	消火	昇降機その他
吉井歴史民俗資料館	展示室1階	鉄筋コンクリート造	2	1983	307.50	B	B	B	B	B	A	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
	展示室2階	鉄筋コンクリート造	2		247.00	B	B	B	B	B	A	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
浮羽歴史民俗資料館	資料館	鉄筋コンクリート造	1	1979	444.88	B	B	B	B	B	A	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
	収蔵庫	鉄筋コンクリート造	1	1986	50.00	B	B	B	B	B	A	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
金子文夫資料展示館	資料館1階	鉄筋コンクリート造	2	1956	221.80	C	B	B	B	C	B	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
	資料館2階	鉄筋コンクリート造	2	1956	290.01	C	B	B	B	C	B	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
菊竹六鼓記念館	ホール	鉄筋コンクリート造	1	1963	78.00	D	D	B	B	C	B	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
	和室	鉄筋コンクリート造	1	1963	128.00	D	D	B	B	C	B	C	C	C	-	-	C	C	C	-	C	C	C	C	C	-
文化財収蔵庫	収蔵庫	鉄筋コンクリート造	3	1989	527.90	B	A	B	B	B	-	B	B	B	-	-	A	A	A	-	B	B	B	B	B	-
鏡田屋敷	住宅・倉庫	木造	2	1863	486.87	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	B	A	A	-	A	B	B	B	A	-
	物置	木造	1		31.25	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	B	A	A	-	A	B	B	B	A	-
居蔵の館	住宅	木造	2	明治末期	400.85	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	B	A	A	-	A	B	B	B	B	-
	倉庫	木造	2		99.60	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	B	A	A	-	-	B	B	B	B	-
町並み交流館商家	住宅	木造	2	1928	441.14	B	A	B	B	B	B	A	A	-	A	A	A	A	-	A	A	A	A	A	-	
	設備棟	木造	1	1928	22.95	B	A	B	B	B	B	A	A	-	A	A	A	-	-	-	A	A	A	A	-	
	付属棟	木造	2	1928	120.00	B	A	B	B	B	B	A	A	-	-	A	A	-	-	-	A	A	A	A	-	
注連原住宅	住宅	木造	1	2016	168.63	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	A	A	A	-	A	A	A	A	A	-

○施設再編の考え方

- ・将来的に同系統の目的や利用者数の減少、経年劣化の影響が著しい文化財関連施設については、施設再編を検討します。
- ・再編手法については、統合、廃止、用途転用、集約化、複合化等と合わせて、減築や地域・民間への委譲、P F I 導入等多岐にわたる検討が望まれます。
- ・万が一、閉館となった場合は、施設の跡地利用の検討を行うとともに、避難施設としての防災機能や地域活動での活用についても検討することが必要です。

※鏡田屋敷、居蔵の館、町並み交流館商家、注連原住宅については、文化財保護の観点から大規模改修及び修繕を繰り返しながら施設の永続的な現状維持を図っていく

○施設の評価結果

公共施設マネジメントシステムを用い、各施設を評価し、対策の優先順位、内容を検討

施設名	施設毎の対策内容	棟名	棟毎の対策内容	構造	階数	延床面積	建築年	経過年数
菊竹六鼓記念館	集約化	ホール	集約化	R C	1	78㎡	1963	57
		和室	集約化	R C	1	128㎡	1963	57
金子文夫資料展示館	集約化	資料館 1 階	集約化	R C	2	221.8㎡	1956	64
		資料館 2 階	集約化	R C	2	290.01㎡	1956	64
浮羽歴史民俗資料館	集約化	資料館	集約化	R C	2	444.88㎡	1979	41
		収蔵庫	集約化	R C	2	50㎡	1986	34
吉井歴史民俗資料館	集約化	展示室 1 階	集約化	R C	2	307.5㎡	1983	37
		展示室 2 階	集約化	R C	2	247㎡	1983	37
文化財収蔵庫	集約化	収蔵庫	集約化	R C	3	527.90㎡	1989	31
町並み交流館商家	長寿命化	住宅	長寿命化	W	2	441.14㎡	1928	92
		設備棟	長寿命化	W	2	22.95㎡	1928	92
		付属棟	長寿命化	W	2	120㎡	1928	92
鏡田屋敷	長寿命化	住宅・倉庫	長寿命化	W	2	486.87㎡	1863	157
		物置	長寿命化	W	2	31.25㎡	1863	157
居蔵の館	長寿命化	住宅	長寿命化	W	2	400.85㎡	明治末期	約110
		倉庫	長寿命化	W	2	99.6㎡	明治末期	約110
注連原住宅	長寿命化	住宅	長寿命化	W	1	168.63㎡	2016	4

【検討内容図】

名称	定義	現在	将来
長寿命化【継続】	既存の建物を活用しつつ、機能維持建物の老朽度に合わせて適切な長寿命化対策を行い、トータルコストを縮減		
集約化【統合】(多機能化)	異なる機能(■□■)を持つ施設を、一つの施設に集約(多機能化)		
集約化【統合】(統合)	同じ機能(■)を持つ施設を、一つの施設に集約し(統合)、統合後に不要となる施設を廃止		

○実施計画

・施設毎の対策内容の実施時期を明らかにします。

・10年を1期とする前後期5年刻みの実施概要を明らかにするため、中長期的なロードマップを示します。

※短期的（今後10年）実施スケジュールについては、記載の通り施設の現状維持を図り、集約化に向けた検討を行う。

施設名	施設毎の対策内容	種名	(R3~R12)		(R13~R22)		(R23~R32)	
			Ⅰ期 (1~10年) (R3~R7) (R8~R12)		Ⅱ期 (11~20年) (R13~R17) (R18~R22)		Ⅲ期 (21~30年) (R23~R27) (R27~R32)	
			前期 2021~2025	後期 2026~2030	前期 2031~2035	後期 2036~2040	前期 2041~2045	後期 2046~2050
菊竹六鼓 記念館	集約化	ホール	現状維持		集約化			
	集約化	和室	現状維持		集約化			
金子文夫 資料展示館	集約化	資料館1階	現状維持		集約化			
	集約化	資料館2階	現状維持		集約化			
浮羽歴史 民俗資料館	集約化	資料館	現状維持		集約化	供用開始・機能保持		
	集約化	收藏庫	現状維持		集約化			
吉井歴史 民俗資料館	集約化	展示室1階	現状維持		集約化			
	集約化	展示室2階	現状維持		集約化			
町並み 交流館宿家	長寿命化	住宅	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）		
	長寿命化	設備棟	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）		
	長寿命化	付属棟	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）		
文化財 收藏庫	集約化	收藏庫	現状維持			長寿命化		
鏡田屋敷	長寿命化	住宅・倉庫	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）	大規模修繕	
	長寿命化	物置	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）	大規模修繕	
居成の館	長寿命化	住宅	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）	大規模修繕	
	長寿命化	倉庫	現状維持		長寿命化	現状維持（軽微な修繕）	大規模修繕	
注連原住宅	長寿命化	住宅	現状維持			長寿命化	現状維持	

○施設利用状況

(単位：人)

施設名	R1	R2	R3
菊竹六鼓記念館	利用回数:約150回	利用回数:約110回	利用回数:64回
金子文夫資料館	1,435	567	1,348
浮羽歴史民俗資料館	4,052	826	3,011
吉井歴史民俗資料館	1,139	920	1,034

※浮羽資料館は、大石堰見学(社会科見学)を含む ※菊竹は利用回数で算出

○施設ランニングコスト

(単位：円)

施設名	R1	R2	R3
菊竹六鼓記念館	1,072,092	1,095,965	1,163,857
金子文夫資料館	3,709,165	3,410,796	3,694,309
浮羽歴史民俗資料館	3,359,469	3,442,223	3,690,743
吉井歴史民俗資料館	2,677,394	3,227,090	2,737,854

※人件費、光熱費、修繕、管理委託などの費用積み上げ

うきは市公共施設等総合管理計画（H29.3月策定）第4章 施設類型ごとの管理に関する基本方針（P38,41抜粋）

施設名	取得年	築年数	内 容
スポーツアイランド 浮羽体育センター うきは市総合体育館	H04 H14 H21	28年 42年 11年	・個別施設計画の方針を踏まえたうえで適正な管理を行い、利用者の安全・安心を確保します。
吉井体育センター	S56	39年	・体育館については、予防保全型の維持管理のもとで可能な限り存続させます。
大春トリムセンター (武道場)	不明		・老朽化が進んでいるため施設の利用を中止する方向で利用者と協議します。また、安全確保の観点から利用中止後はできるだけ早い時期に解体して跡地の有効活用を図ります。その際、行革委員会から建築様式としての価値を問われていた武道場については、県文化財保護課の調査結果等を踏まえ、建物の記録保存に努めます。 なお、解体後の代替施設確保については、小中学校体育館の活用を検討します。
文化会館 (白壁ホール)	S60		・これまで以上に利便性を高めながら、予防保全型の維持管理のもとで長寿命化を図ります。運営方式についても、現在の業務委託方式から指定管理制度への移行に向けて検討を進めます。
うきは市民ホール (かわせみホール)	S56		・設備の不具合等で修理にも多額の費用を要することなどから、集客を伴うホールの利用を中止し、当面はステージ練習等の使用に限定します。今後も関係者及び周辺住民等と協議を重ね、そのあり方について検討します。

体育関連施設及びホール個別施設計画（R3.3月策定）

【目的】

総合管理計画で示した基本的な考え方をもとに、個別施設（建物）ごとの具体的な対応について「事後保全型」から「予防保全型」の管理へと転換し、予算の平準化とトータルコストの縮減を図るために必要な事項について定めるもの。

【計画期間】

本計画は今後30年間を見据えたものですが、上位計画との整合性を保つため、期間は令和3年度から令和8年度までの5年間とし、以後も内容の充実を図りながら見直しを実施します。

【対象施設一覧】

施設類型	施設名	建築年	総延床面積	所管部署
体育関連施設	うきは市吉井体育センター	1981年	1,456.41㎡	生涯学習課
ホール関連施設	うきは市文化会館	1985年	2,252.27㎡	生涯学習課
ホール関連施設	うきは市民ホール	1981年	2,896.96㎡	生涯学習課
体育関連施設	うきは市立総合体育館	2008年	7,265.21㎡	生涯学習課
体育関連施設	うきは市スポーツアイランド	1992年	340.21㎡	生涯学習課
体育関連施設	うきは市大春トリムセンター	1947年頃	482.00㎡	生涯学習課
体育関連施設	うきは市浮羽体育センター	1978年	234.69㎡	生涯学習課

○対象施設の基本的なストック情報

施設名	棟名	構造	階数	延床面積	建築年	耐震情報	
						耐震診断	改修年度
うきは市吉井体育センター	体育館	RC	2	1,456.41	1981年	済	倒壊又は崩壊する危険性は少ない
うきは市文化会館	文化会館	RC	2	2,252.27	1985年	新耐震	
うきは市民ホール	市民ホール	RC	4	2,840.66	1981年	済	補強の必要はない
	うきは通級指導教室	RC	1	56.30	1990年	新耐震	
うきは市立総合体育館	メインアリーナ	RC	1	2,949.43	2008年	新耐震	
	多目的アリーナ	RC	1	1,135.92			
	温水プール・トレーニングルーム	RC	1	2,858.81			
	渡り廊下A	RC	1	48.58			
	渡り廊下B	RC	1	76.61			
	屋外トイレ	W	1	40.32			
	キャノピー	RC	1	96.42			
	ポーチ	RC	1	28.93			
	駐輪場	RC	1	30.19			
スポーツアイランド	管理棟	RC	1	279.63	1992年	新耐震	
	トイレ	RC	1	60.58			
うきは市大春トリムセンター	武道場	W	1	482.00	1947年頃	無	
うきは市浮羽体育センター	管理棟	RC	1	192.19	1978年	無	
	ダックアウト	RC	1	42.50			

○サービス情報一覧表（R1年度）

施設名	年間開館日数	利用者数	1日当たりの利用者数
うきは市吉井体育センター	359	21,995	61
うきは市文化会館	307	26,824	87
うきは市民ホール	359	30,281	84
うきは市立総合体育館	307	149,968	488
うきは市スポーツアイランド	307	43,398	141
うきは市大春トリムセンター	365	20,617	56
うきは市浮羽体育センター	307	29,775	97

○コスト情報一覧表（R1年度）

施設名	歳入（千円）			歳出（千円）					
	使用料 手数料等	その他	計	光熱水費	維持 管理費	使用料 賃借料	人件費	その他	計
うきは市吉井体育センター	357	280	637	58	898				956
うきは市文化会館	2,084	0	2,084	3,473	5,297				8,770
うきは市民ホール	787	0	787	2,136	10,836	1,486	2,078		16,536
うきは市立総合体育館	0	117	117		51,691				51,691
うきは市スポーツアイランド	659	450	1,109	2,421	9,760				12,181
うきは市大春トリムセンター	85	1	86	307	568				875
うきは市浮羽体育センター	494	210	704	1,144	1,582				2,726

○施設の劣化状況結果

(体育施設)

- ・ 構造、基礎、外部：うきはアリーナを除く全体的に劣化
- ・ 内部：広範囲に劣化

(ホール)

- ・ 基礎、外部：部分的に劣化
- ・ 構造、内部：広範囲に劣化

良好

劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等

施設名	棟名	構造	階数	建築年	延床面積	劣化状況評価結果																				
						構造 部材	基礎	屋根	外部 外構	外部 建具	内部 建具	電力	受 変 電	電力 貯蔵・ 発電	通信・ 情報	通信・ 情報 (防災)	中央 監視	避雷	空調	換 気	排 煙	給 排 水 衛 生	消 火	昇 降 機 そ の 他		
吉井体育センター	体育館1階	鉄筋コンクリート造	1	1981	1241.26	B	C	C	C	C	B	C	B	C	B	-	B	B	-	-	-	-	-	C	C	-
	体育館2階	鉄筋コンクリート造	2		247.00	B	C	C	C	C	B	C	B	C	B	-	B	B	-	-	-	-	-	C	C	-
うきは市文化会館	文化会館	鉄筋コンクリート造	2	1985	2252.27	B	B	B	B	B	C	B	B	B	C	B	B	B	-	A	B	B	B	B	-	
うきは市民ホール	市民ホール	鉄筋コンクリート造	4	1981	2840.66	C	C	D	C	C	D	C	B	D	D	D	C	B	B	-	D	B	D	C	C	-
	教育センター事務室	鉄筋コンクリート造	1	1990	56.30	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	B	-	-	-	B	B	-	B	B	-
うきは市立総合体育館	メインアリーナ	鉄筋コンクリート造	2	2008	2949.43	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	-	-	A	-	-	-	A	A	A	A	-
	多目的アリーナ	鉄筋コンクリート造	1	2008	1135.92	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	-	A	A	-	-	-	A	A	A	A	-
	温水プール・トレーニングルーム	鉄筋コンクリート造	2	2008	2858.81	A	A	B	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	-	A	A	A	A	A	A	-
	渡り廊下A	鉄筋コンクリート造	1	2008	48.58	A	A	A	A	-	-	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	渡り廊下B	鉄筋コンクリート造	1	2008	76.61	A	A	A	A	-	-	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	屋外トイレ	木造	1	2008	40.32	A	A	A	A	-	-	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キャノピー	鉄筋コンクリート造	1	2008	96.42	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ポーチ	鉄筋コンクリート造	1	2008	28.93	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐輪場	鉄筋コンクリート造	1	2008	30.19	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スポーツアイランド	野球場1階	鉄筋コンクリート造	1	1992	279.63	A	B	B	C	A	A	D	A	B	B	B	B	B	-	-	D	B	B	B	A	-
	倉庫便所棟	鉄筋コンクリート造	1	1992	60.58	A	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-	-	-	-	-	-	B	B	B	-	-
大春トリムセンター	武道場	木造	1	不明	482.00	C	C	C	D	B	-	C	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	C	-	-	
浮羽体育センター	体育センター	鉄筋コンクリート造	1	1978	192.19	C	C	C	D	C	B	D	C	C	C	-	-	-	-	-	-	C	-	C	A	-
	ダッグアウト	鉄筋コンクリート造	1	1978	42.50	C	C	C	C	-	-	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	-	-

○施設再編の考え方

体育関連施設

体育関連施設について、本市では事後保全から予防的保全の方針を踏まえて、大規模改修を行い、その後は修繕を繰り返しながら施設の長寿命化を図っています。将来的に同系統の目的や利用者数の減少、経年劣化の影響が著しい体育関連施設については、解体や統合について検討します。解体となった場合は、施設の跡地利用の検討を行うとともに、避難施設としての防災機能や地域活動での活用についても検討することが必要です。

ホール

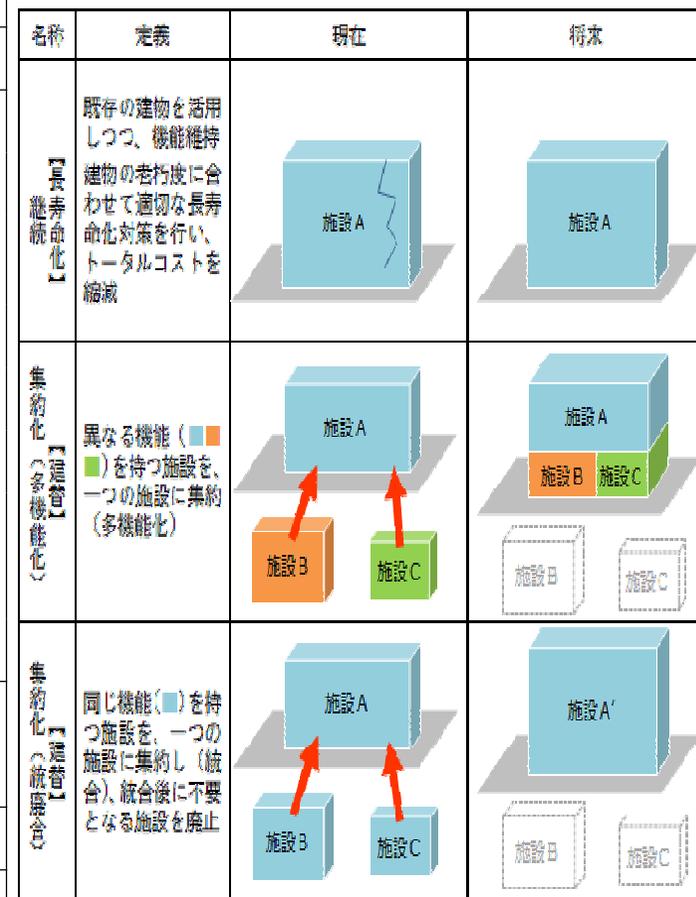
ホールについて、本市ではうきは市文化会館とうきは市民ホールの2施設があり、今後とも両施設を維持管理するには多大な費用がかかります。また、市の将来的な人口からも機能が重複している施設のホール機能を1カ所に集約していきます。うきは市文化会館については、予防保全型の維持管理のもとで長寿命化を図っていきます。また、うきは市民ホールについては、設備の老朽化や不具合等で修理に多額の費用を要することから、短期的には現状の維持を図り、ホール機能の中止及び用途変更を検討します。中長期的には文化財関連の展示・収蔵施設への一部転用を含めた活用方法等について地域関係者との協議に努めます。

○施設の評価結果

公共施設マネジメントシステムを用い、各施設を評価し、対策の優先順位、内容を検討

施設名	施設毎の対策内容	棟名	棟毎の対策内容	構造	階数	延床面積	建築年	経過年数
うきは市吉井体育センター	現状維持	体育館	現状維持	R C	2	1,456.41	1981年	40
うきは市文化会館	長寿命化	文化会館	長寿命化	R C	2	2,252.27	1985年	36
うきは市民ホール	現状維持	市民ホール	現状維持	R C	4	2,840.66	1981年	40
		うきは通級指導教室	現状維持	R C	1	56.30	1990年	31
うきは市立総合体育館	長寿命化	メインアリーナ	長寿命化	R C	1	2,949.43	2008年	13
		多目的アリーナ	長寿命化	R C	1	1,135.92		
		温水プール・トレーニングルーム	長寿命化	R C	1	2,858.81		
		渡り廊下A	長寿命化	R C	1	48.58		
		渡り廊下B	長寿命化	R C	1	76.61		
		屋外トイレ	長寿命化	R C	1	40.32		
		キャノピー	長寿命化	R C	1	96.42		
		ポーチ	長寿命化	R C	1	28.93		
うきは市スポーツアイランド	長寿命化	管理棟	長寿命化	R C	1	279.63	1992年	33
		トイレ	長寿命化	R C	1	60.58		
うきは市大春トリムセンター	解体	武道場	解体	W	1	482.00	1947年頃	約73
うきは市浮羽体育センター	長寿命化	管理棟	長寿命化	R C	1	192.19	1978年	43
		ダックアウト	長寿命化	R C	1	42.50		

【検討内容図】



○実施計画

・施設毎の対策内容の実施時期を明らかにします。

・10年を1期とする前後期5年刻みの実施概要を明らかにするため、中長期的なロードマップを示します。

※短期的（今後10年）実施スケジュールについては、記載の通り施設の現状維持を図り、集約化に向けた検討を行う。

施設名	施設毎の対策内容	種名	(R3~R12)		(R13~R22)		(R23~R32)	
			Ⅰ期 (1~10年)		Ⅱ期 (11~20年)		Ⅲ期 (21~30年)	
			前期 2021-2025	後期 2026-2030	前期 2031-2035	後期 2036-2040	前期 2041-2045	後期 2046-2050
うきは市吉井 体育センター	解体	体育館	現状維持				解体	
うきは市 文化会館	長寿命化	文化会館	長寿命化	現状維持				大規模 改造
うきは市民 ホール	現状維持	市民ホール	現状維持		用途変更			
		うきは運動場研修室	現状維持		用途変更			
うきは市立 総合体育館	長寿命化	メインアリーナ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		多目的アリーナ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		温プール・ トレーニングルーム	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		渡り廊下Ⅰ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		渡り廊下Ⅱ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		屋外トイレ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		キャノピー	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		ポーチ	現状維持	大規模 改造	現状維持			
		駐輪場	現状維持	大規模 改造	現状維持			
うきは市入 ポイント	長寿命化	管理棟	現状維持		長寿命化	現状維持		
		トイレ	現状維持		長寿命化	現状維持		
うきは市六島 トリムセンター	解体	武道場	解体					
うきは市浮羽 体育センター	長寿命化	管理棟	現状維持	長寿命化	現状維持			
		ダックアウト	現状維持	長寿命化	現状維持			

年度	種別	白壁ホール		かわせみホール		
H29	人件費		0		2,074,937	
	維持管理費		9,888,445		15,707,316	
	駐車場借上料		0		1,080,000	
	修繕・工事費	空調用自動制御機器交換工事	6,318,000		空調単独化工事（第1・2・4研修室）	3,078,000
		空調機用燃料地下タンク配管等修繕	1,280,880		その他修繕	375,188
		その他修繕	1,255,671			
		修繕・工事費計	8,854,551		修繕・工事費計	3,453,188
合計		18,742,996		22,315,441		
使用料収入	利用者37,318人	2,620,414	利用者43,668人	1,217,450		
H30	人件費		0		2,076,259	
	維持管理費		8,062,652		13,217,283	
	駐車場借上料		0		1,080,000	
	修繕・工事費	トイレ改修工事	9,450,000		コミュニティルーム空調機更新	1,279,800
		その他工事	334,800		その他修繕	786,128
		その他修繕	1,850,281			
		修繕・工事費計	11,635,081			2,065,928
合計		19,697,733		18,439,470		
使用料収入	利用者29,181人	1,745,350	利用者51,617人	975,335		
R1	人件費		0		2,078,661	
	維持管理費		8,105,885		12,263,407	
	駐車場借上料		0		1,080,000	
	修繕・工事費	その他修繕	688,248		エアコン移設工事	853,200
					その他修繕	325,296
		修繕・工事費計	688,248			1,178,496
合計		8,794,133		16,600,564		
使用料収入	利用者26,824人	2,084,100	利用者30,281人	787,085		
R2	人件費		0		2,075,674	
	維持管理費		8,957,130		13,268,719	
	駐車場借上料		0		1,080,000	
	修繕・工事費	駐車場点字ブロック修繕工事	2,954,600		非常用発電機取替工事	4,950,000
		その他工事	478,500		その他工事	379,500
		その他修繕	1,770,428		その他修繕	418,440
		修繕・工事費計	5,203,528		修繕・工事費計	5,747,940
合計		14,160,658		22,172,333		
使用料収入	利用者7,472人	387,910	利用者14,813人	1,056,780		
R3	人件費		0		2,175,657	
	維持管理費		8,421,094		12,881,110	
	駐車場借上料		0		1,080,000	
	修繕・工事費	1階トイレ改修	8,140,000		高圧負荷開閉器(PAS)更新工事	789,800
		東面外壁部分改修工事	950,400		その他修繕	837,828
		その他工事	1,836,450			
		その他修繕	529,540			
修繕・工事費計	11,456,390		修繕・工事費計	1,627,628		
合計		19,877,484		17,764,395		
使用料収入	利用者15,909人	1,677,633	利用者17,734人	465,380		